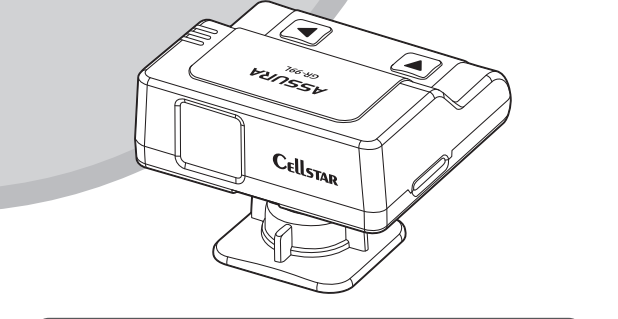


Cellstar®

GPS レシーバー

GR-99L

取扱説明書



この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。本機は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。速度の出しすぎに注意して走行してください。また、緊急車両が接近した場合には速やかに道を譲ってください。

Copyright © 2021-2022 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.
Cellstar は、セルスター工業株式会社登録商標です。
microSD™ は SD アソシエーション登録商標です。
microSD Logo は登録商標です。
その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
※ 本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮した大豆油インクを使用しております。

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、お受け取りになり、保証内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には、本書記載の修理受付票も併せてご記入ください。

製品名：GR-99L	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	
ご住所：	
お電話：	
	印
保証期間 3年	お買いげ年月日から3年間有効

以下の場合には保証の対象外となります。

① 本製品に付属の取扱説明書に記載された使用 方法や注意事項に反した取扱いによって生じた 故障・使用	⑥ 内蔵電池を含む消耗、摩耗した部品および付 属品の交換
② 誤用・乱用および取扱不注意による故障	⑦ 本証の提示がない場合
③ 火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・ 盗害・水害から異常電圧・落下・衝撃による故障	⑧ 本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など） に記入がない場合
④ 不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕 跡がみられる故障	・ 取付不良、接続不良、不適切な使用状態による 車の故障や事故などとの附随的損害の補償に ついては一切の責任を負いません。 あらかじめご了承ください。
⑤ 使用中に生じた傷など外観上の変化	・ 本証は日本国内においてのみ有効です。 また本証の再発行はいたしませんので大切に 保管してください。
⑥ 保管状態が適切でなかった場合	
⑦ 業務目的でご利用になった場合	

【全国自動車用品工業会会員】「一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員」
【一般社団法人日本自動車部品工業会会員】「東京都自動車部品組合会員」
Cellstar セルスター工業株式会社
PP-D5911MN-A 2022.6
<https://www.cellstar.co.jp>

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

△危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
△警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
△注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- ① この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
- ② この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
- △ この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

△危険

- ① 本機は DC12V 専用です。他の電圧での使用は、絶対におやめください。
* 故障の原因となります。
- ② 走行中に本機の操作をしないでください。
* 交通事故の原因となります。
- ③ 万一、故障した場合は、直ちに使用を中止してください。
* そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- ④ 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。
- ⑤ 本機を水につけたり、水をかけたり、または、ぬれた手で絶対に触れないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
- ⑥ 煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態のままで使用しないでください。
* 発火して火災の原因となります。

△警告

- ① 運転や視界の妨げにならない場所、または自動車の機能（ブレーキ、ハンドルなど）の妨げにならない場所に取り付けてください。
* 誤った取り付けは交通事故の原因となります。
- ② 本機は精密機器です。分解や改造は絶対にしないでください。
* 発熱、火災、ケガの原因となります。

△注意

- ① バイブレーションにピンや針金を入れないでください。
* 感電や故障の原因となります。
- ② 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- △ 夏の炎天下、真冬の駐車、湿度が高い場所ではできるだけ本機を取り外してください。
* 性能の劣化、本体の変形をまねく原因となります。
- △ 本機を取り付けている、いないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、当社では一切の責任を負いかねます。
- △ microSD カードの挿入、取り出しをするときは、microSD カードスロットに顔を向けしないでください。
* ケガの原因となります。

使用上の注意

■取り付けについて

- ・取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、赤外線透過率が低いためにレーザの受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。
- ・本機は、防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・本機をフロントガラスに取り付けしないでください。
- ・本機は、車載の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETC、カメラ、アンテナ類など）や電源ノイズの影響により、本機の取り付け位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。その場合には、十分間隔をとって取り付けてください。
- ・本機にセルスター製以外の DC コードを取り付けしないでください。故障の原因となります。

■各種 GPS 警告案内について

- ・各種 GPS データは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- ・取締りポイントおよび待伏せエリアは、取締りの目撃情報をもとに登録されています。

・凍結注意アナウンスは、弊社独自調査による道路の凍結しやすい地点を冬季期間お知らせします。

・事故多発エリアは警察庁、国土交通省の統計データにより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻発におこなわれる場合があります。

・本機は、高精度 GPS データを GPS の受信から独自に計算して警告します。そのため、登録、記録されていない地点や、測位が不安定、未測位な場合には、警告動作をおこなうことができません。また、警告内容と実際の状況などが異なる場合があります。

- ・本機でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する速度規制には対応していません。
- ・制限速度切替りポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切り替わりはお知らせしません。
- ・トンネル入口案内は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では案内しません。
- ・本機でお知らせする飲酒運転警告案内は、飲酒運転をしないように注意を促すもので飲酒検問などをお知らせするものではありません。

■レーザ受信について

- ・本体のレーザ受信部と取締機のレーザ光源を結んだ直線上に遮蔽物が存在すると受信できません。
- ・次の場合、取締機のレーザ光が受信できない、または受信が遅くなる場合があります。
 - ・取締機が直接視界に入らない形状の道路を走行中のとき。
 - ・自車の前方に、車両、バイク、自転車や車道に飛び出した街路樹などが存在するとき。
 - ・本体のレーザ受光部に朝日や西日などが直接入射しているとき。
 - ・過度な悪天候のとき（豪雨や大雪、濃霧など）。
 - ・降雪時、ワイパー動作で拭拭れない領域により本体の受信窓が隠れるとき。
 - ・レーザ光を使用した車両検知器や衝突回避システムなど安全運転支援装置を装着した車両に近づいたとき。

■アイドリングストップ車の使用について

・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本機の電源が落ちる場合があります。

■自車位置および走行速度などについて

- ・GPS の受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- ・前回の GPS 受信から 72 時間を経過すると超速 GPS は機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- ・最後に電源を OFF にしてから直線距離で 300km 以上離れた地点で電源を ON にした場合、最後に電源を OFF にして次に電源を ON したときに GPS 衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- ・自車位置は、GPS の受信の動きで測位されます。高架下やトンネルなどで GPS からの受信が一時的に途切れても、自車位置を測定することができますが、GPS が受信できない場所では、完全な自車位置の測位をおこなうことができません。

■microSD カードについて

- ・本機は使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合がありますが、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。
- ・microSD™ は SD アソシエーションの商標です。

■MyCellstar について

- ・「MyCellstar」で GPS データをダウンロードする場合は、インターネットへの接続が可能な環境と microSD カードを読み書きできるパソコンが必要となります。

■MyCellstar+Sync for Android について

- ・スマートフォンは、メモリー状況、使用環境など様々な要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。
- ・iOS 版によるの転送には対応していません。
- ・Android 4.4 は OS の仕様により対応していません。
- ・Android 5.0 以降は SD カードの書き込み権限の設定が必要です。

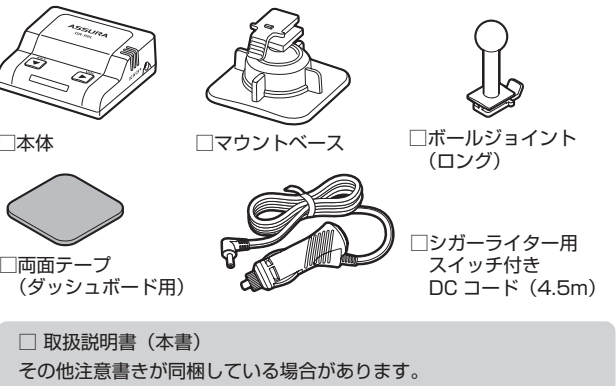
■本体ソフトウェア更新について

・本体ソフトウェア更新をおこなう際は、本体の電源が OFF にならないようご注意ください。また、更新中はエンジンの停止や microSD カードの取り出しはおこなわないでください。

■その他の注意について

- ・本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ・製品のデザインや仕様は、改良などのため予告なく変更する場合があります。
- ・本機の誤った取り扱いによる車両や車載品などの事故・破損・故障・損害などが発生したとしても弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・本機は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも、速度の出しすぎや飲酒運転は絶対におやめください。
- また、緊急車両が接近した際には速やかに道を譲ってください。

① 付属品の確認

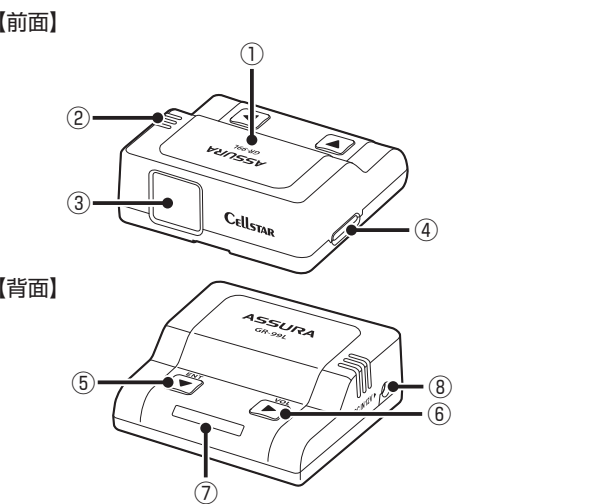


オプション

- 別送、ご購入下さい。
- R0-103（直結配線用 DC コード）
- R0-122（フレキシブルステー）



② 各部の名称と機能



① GPS 受信部

GPS を受信します。

② スピーカー

警告音やボイスガイドなどの音が出ます。

③ レーザ受信部

レーザ式オービスからのレーザ光を受信します。

■本体ソフトウェア更新について

・本体ソフトウェア更新をおこなう際は、本体の電源が OFF にならないようご注意ください。また、更新中はエンジンの停止や microSD カードの取り出しはおこなわないでください。

- ④ microSD カードスロット
市販の microSD カードを挿入します。
- ⑤ ENT・▼ボタン
各設定操作の決定時に使用します。
- ⑥ VOL・▶ボタン
各設定操作の変更時、音量の調節などに使用します。
- ⑦ LED ランプ（フルカラー LED）
ランプの色や点滅で本体の動作状況を確認できます。
- ⑧ DC12V ソケット
DC コードを接続し、電源を本機に入力します。

2-1 microSDカードの使用方法

最新の GPS データは、「MyCellstar」からダウンロードできます。【▶⑨参照】

※本機は、SDHC 規格に準拠した FAT32 形式でフォーマットされた microSD カードでは 1GB ～ 32GB まで、FAT16 形式でフォーマットされた microSD カードでは 1GB ～ 2GB が使用できます。
※microSD™ は SD アソシエーションの商標です。

△注意

microSD カードに保存したデータの取り扱いについて

本機は使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合がありますが、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

2-2 microSDカードの挿入

△必ず、本機の電源が OFF になっていることを確認してください。

microSD カードの向きに注意して「カチッ」と音がするまで押し込む。

microSD カードが排出されます。

2-3 microSDカードの取り出し

△必ず、本機の電源が OFF になっていることを確認してください。

挿入されている microSD カードを「カチッ」と音がするまで押し込む。

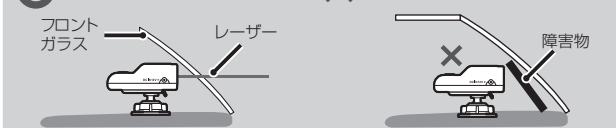
microSD カードが排出されます。

③ 本体の取り付け方

✓アドバイス

- ・本機は前方からのレーザを受信してお知らせします。そのため本体のレーザ受信部を遮るような障害物となるものがないように本体をお取り付けください。

○レーザが届く場所



以下のような場所への設置は注意が必要。
・左右のAピラーの影となる場所
・前方が盛り上がったダッシュボード
・メーターフードの影

- ・本機は上空からの GPS 信号を受信してお知らせします。そのため本体の上などに金属などの障害となるものがないようにしてください。

○GPS信号が届く場所



以下のような場所への設置は注意が必要。
・左右のAピラーの影となる場所
・前方が盛り上がったダッシュボード
・メーターフードの影

3-1 ダッシュボードへ直接取り付ける場合

- ① 両面テープ（ダッシュボード用）を本体の底面に貼り付ける。



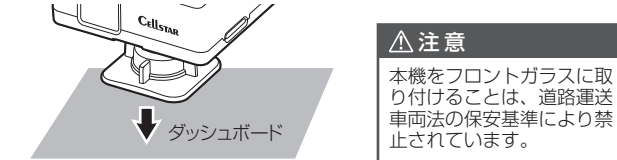
- ② 本体をダッシュボードに貼り付ける。

3-2 マウントベースを使って取り付ける場合

- ① 本体の底にマウントベースを装着し、マウントベースの裏面に両面テープ（ダッシュボード用）を貼り付ける。

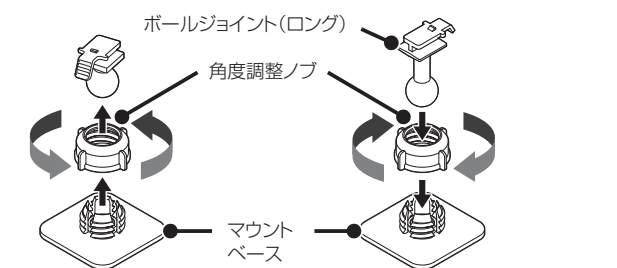


- ② マウントベースをダッシュボードに貼り付ける。



3-3 ボールジョイントの交換

ダッシュボードの形状により、ボールジョイント（ロング）に差し替えて、レーザを受信しやすくなるよう取り付けてください。



✓アドバイス

- ・オプションのフレキシブルステーを使用することで、ルームミラーの裏などに取り付けが可能ですが、
- ・本機は上空からの GPS 信号を受信してお知らせします。そのため本体の上などに金属などの障害となるものがないようにしてください。

以下のような場所への設置は注意が必要。
・左右のAピラーの影となる場所
・前方が盛り上がったダッシュボード
・メーターフードの影

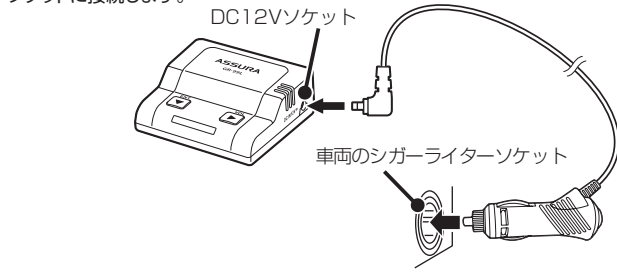
④ 電源の取り方

△注意

- ・本機にセルスター製以外の DC コードを取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ・取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、また車両の機能（ハンドル、ブレーキなど）の妨げにならないように注意し確実にしておこなってください。
- ・エアバッグの近くに取り付けたり、配線したりしないでください。
- ・本体の取付場所、各コードの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響、また周辺の電子機器の影響を受ける場合があります。
- ・コードを無理に曲げたり、つぶしたり、加工しないでください。
- ・オプションの直結配線用 DC コードを使用して配線をおこなう場合、ショート事故防止のため、あらかじめバッテリーの（－）マイナス端子を外して作業をおこなってください。
- ・オプションの直結配線用 DC コードでの配線の場合には、確実に車のボディにアース接続してください。
- ・シガーライター用スイッチ付き DC コードをシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らないでください。
- ・長期間車両を使用しない場合は、本機から DC コードを取り外してください。

4-1 シガーライターソケットから電源を取る

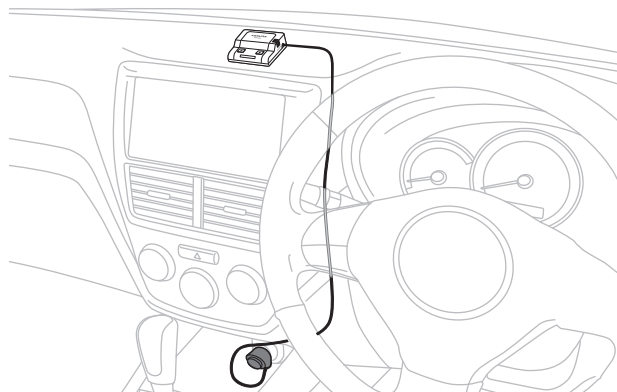
付属のシガーライター用スイッチ付き DC コードのプラグをシガーライターソケットに接続します。



エンジンをかけて本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。
・コード類の接続
・車、または DC コード内のヒューズ

✓アドバイス

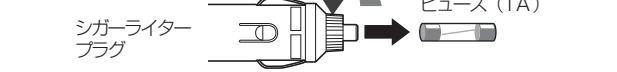
コード類は運転の妨げとならないように配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やバックシートの隙間に入れます。



- ・配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- ・コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

4-3 ヒューズが切れた場合

ヒューズ（1A）を交換します。



⑤ 操作方法

5-1 電源を入れる

- ① 車のエンジンを始動する。
- ② シガーライター用スイッチ付 DC コードの電源スイッチを「ON」にする。



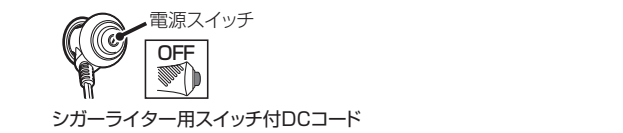
✓アドバイス

初めてお使いになる場合
GPS 測位に確定するまでに時間がかかる場合がありますが（15 分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS 測位に 20 分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。GPS 測位が確定すると「♪GPS を測位しました。」とお知らせします。

※超高速 GPS により自車位置を素早く測位します。動作の条件については「GPS 測位について」をご覧ください。

5-2 電源を切る

シガーライター用スイッチ付 DC コードの電源スイッチを「OFF」にします。



5-3 自動更新処理について

最新の GPS データが書き込まれた microSD カードを挿入し、電源を入れると microSD カードをチェックし、自動で更新します。更新中は LED ランプ（白色明滅）で点灯します。

成功時	青（5 秒点灯）	本機に GPS データが入っていない場合は、「♪ビビビビビ」をお知らせします。
失敗時	赤・白交互に点灯	

※microSD カードのチェックが終了するとサウンドおよび LED ランプの点灯で待受状態をお知らせします。

※データの更新が失敗した場合、再度電源を入れなおしてください。それでも更新に失敗する場合は、「MyCellstar」のサイト内の説明をよく読み、再度データの書き込みをしてみてください。

5-4 オープニングのボイス

「♪シートベルトを着用してください。」
シートベルト着用案内の設定が「オン」の場合、本機の電源が入ったときにお知らせします。

「♪飲酒運転はおやめください。」
飲酒運転警告案内の設定が「オン」の場合、夜間に本機の電源が入ったときにお知らせします。

「♪春の交通安全運動週間です。」
4 月 6 日～4 月 15 日の春の交通安全運動週間にお知らせします。4 年に一度おこなわれる統一地方選挙のある年だけ、5 月 11 日～5 月 20 日に変更になります。

「♪秋の交通安全運動週間です。」
9 月 21 日～9 月 30 日の秋の交通安全運動週間にお知らせします。ご購入後、初めて電源を入れた日が交通安全運動期間中の場合、交通安全運動期間中の案内はおこないません。シートベルトの着用案内をお知らせします。また、初めて電源を入れた時間が夜間の場合でも飲酒運転警告はおこないません。

5-5 警告音のミュート

レーザの警告中に警告音をミュート（消音）します。

- ① 警告動作中に VOL ボタンを長押し（1 秒）する。
ミュート中、レーザの受信がなくなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

5-6 音量の調整

本機のスピーカーから出力される音量を調整します。待受状態で VOL ボタンを押すと音量を変更できます。



工場出荷時は、音量は「4」に設定されています。VOL ボタンを押すことに [4⇒5⇒6⇒7⇒0⇒1⇒2⇒3] の順に切り替わります。数秒後、自動的に待受状態に戻ります。

※変更後の音量の確認は VOL ボタンを押したときに鳴るキートンで確認してください。

5-7 本体初期化

- 1 本機が待受け状態のときに、▼ボタン＋▶ボタンを同時に長押し（5秒間）する。



- 2 「▶初期化開始」とアナウンスが流れ、初期化が開始される。

- 3 初期化が終了すると「▶初期化完了」の音声 flowed れたと「ピポポ」とお知らせします。

5-8 タイムディマー機能

GPSの時刻情報によりLEDランプの輝度制御をおこないます。

設定	昼間 6:00～17:59	夜間 18:00～5:59
明るい	4（最も明るい）	2
暗い	3	1（最も暗い）

5-9 GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPSが測位されると「▶GPSを測位しました。」とお知らせします。

GPS測位状態の確認

待受け時のLEDランプでGPS測位の状態が分かります。



✓アドバイス

初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（15分程度）。これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れたお承してください。
- トンネル内、高架下、ビル谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

超速GPSについて

自車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

✓アドバイス

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- 最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

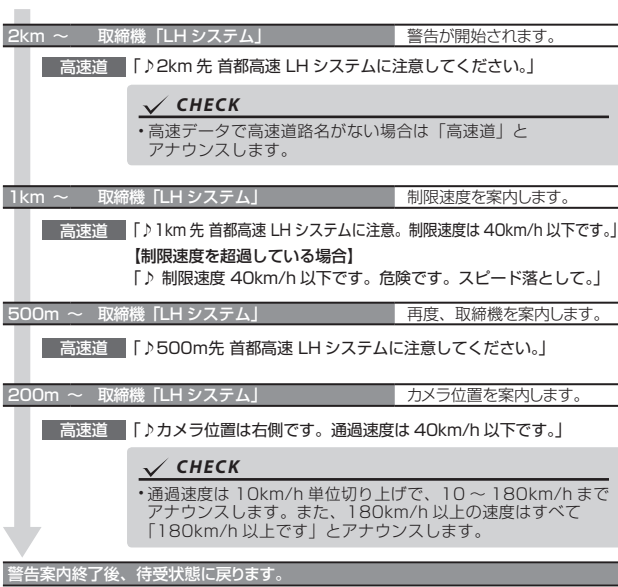
6 GPS警告案内

6-1 速度取締機などの警告動作

速度取締機、信号無視監視機を高速道路走行中は2km先、一般道走行中は1km先から警告案内します。

- 距離のお知らせは、走行状況によって2km先/2km以内、1km先/1km以内、500m先/500m以内と変化します。
- 通過速度の警告は約200m手前で、警告を開始した時点で計測した走行速度をお知らせします。GPSで計測した走行速度と車両のスピードメーターでは計測方法が違いため、同時点の計測であっても異なる場合があります。
- GPS未測位時、GPS警告案内や走行速度は計測されません。

■首都高速、LHシステムの場合



6-2 GPS警告案内の種類と内容

音声とLEDランプで警告、案内します。

種類	内容	LEDランプ
オービス	レーダー（マイク口）を車に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。高速道路は2km先、一般道は1km先から警告案内します。	赤色点滅（警告動作の間）
ループコイル	複数のループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。高速道路は2km先、一般道は1km先から警告案内します。	
LHシステム	レーダーと異なる電波を使用します。事前に「速度超過」などを速度警告板に表示し、無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。高速道路は2km先、一般道は1km先から警告案内します。	
NHシステム	複数のループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影します。高速道路は2km先、一般道は1km先から警告案内します。	
レーダー式新型取締機	レーダー波によって走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。高速道路は2km先、一般道は1km先から警告案内します。	
信号無視監視機	信号無視の違反車両を監視します。高速道路は2km先、一般道は1km先から警告案内します。	
取締りポイント	主に速度取締りがおこなわれている可能性のあるポイントの1km手前と500m手前で警告します。（一定の速度より速い場合のみ）を警告します。*警告ポイントの道路種（高速道/一般道）をお知らせします。	
投稿・取締りエリア	ASSURA+Link*に投稿されている取締りポイントを弊社で精査し登録したポイントです。投稿・取締りポイントの500m手前で警告します。*弊社クラウドサービス	
新型取締機設置ポイント	主にゾーン30エリアに設置されている、または過去に設置された新型取締機設置ポイントを500m手前で警告します。	黄色点滅（警告動作の間）
Nシステム	盗難車両の発見、自動車を使用した重要事件の犯人検挙のために自動でナンバーを読み取るNシステムを500m手前で警告します。	
過積載監視システム	路面に設置された重量測定用の踏み台と道路上方のカメラで、大型車の重量オーバーを監視する過積載監視システムを500m手前で警告します。	
交通検問所	一般道や高速道に設置されている交通検問所を500m手前で警告します。	
制限速度切りポイント	制限速度が切り替わる付近の500m手前で警告します。	

種類	内容	LEDランプ
待伏せエリア	シートベルト、一時停止、飲酒、携帯電話、信号無視、一方通行、右左折禁止、通行区分違反、その他の取締りおこなわれている可能性の高いエリアを500m手前で警告します。	
投稿・取締りエリア	ASSURA+Link*に投稿されている取締りエリアを弊社で精査し登録したエリアです。投稿・取締りエリアの200m手前で警告します。*弊社クラウドサービス	
ゾーン30	生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30km/hに設定された区域（ゾーン30）を警告します。	
事故多発エリア 事故多発路線	事故発生率の高いエリア、路線を500m手前で警告します。	黄色点滅（警告動作の間）
高速道逆走注意エリア	高速道上の逆走が発生しやすいエリアを10m～2kmで警告します。	
警察署	緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートするため、全国各地の警察署を500m手前で警告します。	
交通警察隊	一般道や高速道に設置されている交通警察隊を500m手前で警告します。	
駐車禁止重点エリア	公表されている取締活動ガイドラインと弊社調査による駐車禁止エリアなどの、標識などによる駐車禁止場所では、お知らせしない場合があります。重点エリアの1km手前、最重点エリアの500m手前で警告します。	
駐車禁止最重点エリア	盗難多発ポイントを発生する多い時間帯で低速走行時に3km手前で警告します。	

急カーブ	目前の急カーブや、山間部のカーブが連続しているポイントを500m手前で案内します。	
道の駅	一般道併設の道の駅を1km手前で案内します。	
ハイウェイアシス	高速道併設のハイウェイアシスを1km手前で案内します。	
サービスエリア（スマートIC）	全国の高速道路併設のサービスエリア（スマートインターチェンジ）を2km手前で案内します。	
パーキングエリア（スマートIC）	全国の高速道路併設のパーキングエリア（スマートインターチェンジ）を2km手前で案内します。	青色点滅（案内動作の間）
高速道凍結注意アナウンス	高速道のトンネルや橋付近で、凍結に注意が必要なポイントを500m手前で案内します。*12月中旬～2月のみ	
トンネル入口案内	全長1km以上のトンネル全長1km以上のトンネル入口と、ヘッドライト点灯を案内します。	
高速道インターチェンジ案内	高速道路のインターチェンジ（スマートインターチェンジ）を300m手前で案内します。	
高速道ジャンクション案内	高速道路のジャンクションを300m手前で案内します。	
交番・派出所・駐在所	全国各地の交番、派出所、駐在所を200m手前で案内します。	

7 各種設定方法

7-1 設定の変更

- ENTボタンを押して変更したいメニュー内容を選択する。
 - ENTボタンを押してメニュー内容がアナウンスされます。ENTボタンを押すことにメニューが切り替わります。詳細は「設定一覧」を参照してください。【▶7-2参照】
- ▶ボタンを押してメニューの設定値を選択する。
 - *メニュー内容がアナウンスされます。ENTボタンを押すことにメニューが切り替わります。詳細は「設定一覧」を参照してください。【▶7-2参照】
- ENTボタンを長押し（1秒以上）してメニューの設定値を確定する。
 - *「▶戻る」とアナウンスされます。設定完了後は待受状態に戻ります。

✓アドバイス

- メニュー選択時（アナウンス時）に10秒間ボタンを押さない状態が続くとタイムアウトにより自動的に待受状態に戻ります。また、このときに選択されていた（アナウンスされていた）設定値が設定されます。*データ情報、本体ソフトウェア情報は、3回連呼した後、待受状態に戻ります。
- 続けてメニューの設定値を変更したい場合は一度待受状態に戻ってから、再びメニューを選択してください。ENTボタンの長押しもしくはタイムアウトにより確定せずにENTボタンを押しても設定は変更されません。
- 設定の変更は待受状態からでないとメニュー選択できません。

7-2 設定一覧

*初回値は太文字
*1 オール：高速道と一般道 / ハイウェイ：高速道 / シティ：一般道
*2 オール：全てのポイントを警告 / 標準：制限速度が下がるポイントのみ警告。

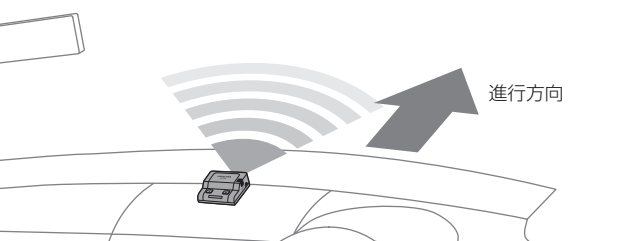
設定メニュー	メニューの説明	設定値	LED色
LED明るさ	LEDランプの明るさを設定します。	明るい 暗い	赤色 黄色
LED警告	警告時、LEDランプの動作を設定します。 *ルミミラー裏に取付けする場合、保安基準に抵触しないよう設定をオフにしてください。	オン オフ	赤色 青色
LEDイルミ	待受け状態のLEDランプの色を設定します。	ホワイト レッド オレンジ イエロー グリーン ブルー グリーン ブルー グリーン ブルー	←
飲酒運転禁止	飲酒運転禁止を音声で警告するか設定します。（電源を入れたとき） *夜間（21:00～2:59）に限ります。	オン オフ	赤色 青色
GPS測位アナウンス	GPSの測位を音声でお知らせするか設定します。	オン オフ	赤色 青色
シートベルト着用案内	シートベルトの着用を音声で警告するか設定します。（電源を入れたとき） *夜間は飲酒運転禁止が優先されます。	オン オフ	赤色 青色
速度アラーム	走行速度が超えたときにアラームで警告する上限速度を設定します。	オフ 80キロ 90キロ 100キロ 110キロ 120キロ 130キロ	消灯 赤色 黄色 緑色 青緑 青色 紫色

取締機	取締機を警告する道路の種類を設定します。		
Nシステム	Nシステムを警告する道路の種類を設定します。	オール ハイウェイ シティ オフ	*1 *1 *1 赤色 黄色 緑色 青色
取締りポイント	取締りポイント、投稿・取締りポイント、投稿・取締りエリアを警告する道路の種類を設定します。	オール ハイウェイ シティ オフ	*1 *1 *1 赤色 黄色 緑色 青色
待伏せエリア	待伏せエリアを警告する道路の種類を設定します。	オン オフ	赤色 青色
新型取締機設置ポイント	新型取締機設置ポイントを警告するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
制限速度切り	制限速度が切り替わるポイントを警告するか設定します。 *制限速度よりも走行速度が速い場合は、「▶スピードに注意してください」と警告。	オール 標準 オフ	*2 *2 赤色 黄色 青色
過積載取締機	過積載取締機を警告する道路の種類を設定します。	オール ハイウェイ シティ オフ	*1 *1 *1 赤色 黄色 緑色 青色
警察署	警察署、交通警察隊を警告する道路の種類を設定します。	オン オフ	赤色 青色
交通検問所	交通検問所を警告する道路の種類を設定します。	オン オフ	赤色 青色
ゾーン30	ゾーン30に設定された区域を警告するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
駐車禁止エリア	駐車禁止エリアを警告するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
盗難多発エリア	盗難多発エリアを警告するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
高速道インターチェンジ案内	高速道インターチェンジを案内するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
高速道ジャンクション案内	高速道ジャンクションを案内するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
急カーブ	急カーブを案内する道路の種類を設定します。	オール ハイウェイ シティ オフ	*1 *1 *1 赤色 黄色 緑色 青色
事故多発エリア	事故発生率の高いエリアを警告するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
事故多発路線	事故発生率の高い路線を警告するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
高速道逆走注意エリア	高速道で逆走が発生しやすいエリアを警告するか設定します。	オン オフ	赤色 青色

設定メニュー	メニューの説明	設定値	LED色
トンネル入口案内	トンネル入口を案内する道路の種類を設定します。	オール ハイウェイ シティ オフ	*1 *1 *1 赤色 黄色 緑色 青色
高速道凍結注意アナウンス	高速道で凍結が発生しやすいポイントを案内するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
道の駅	道の駅、ハイウェイアシスを案内する道路の種類を設定します。	オール ハイウェイ シティ オフ	*1 *1 *1 赤色 黄色 緑色 青色
サービスエリア	サービスエリア、パーキングエリアを案内するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
交番	全国各地の交番、派出所、駐在所を案内するか設定します。	オン オフ	赤色 青色
レーザ受信	レーザを受信するか設定します。 *オートは、停車時、低速でレーザ警告をしません。	オン オフ オート	赤色 青色 緑色
データ情報	GPSデータの版数を音声でアナウンスします。例）「▶2021年1月版版」	設定なし	白色
本体ソフトウェア情報	現在の本体ソフトウェアバージョンを音声でアナウンスします。例）「▶本体ソフトウェアバージョン1.0.0」	設定なし	白色

8 レーザ受信

本機をレーザ光を受信しやすい視界の良い場所に設置してください。



8-1 レーザ受信の動作

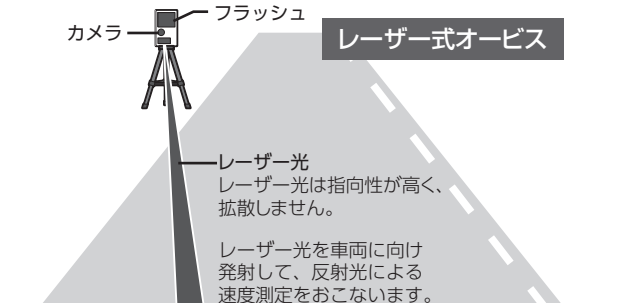
レーザ式オービスからのレーザ光の受信状況を元に、受信レベルを2段階（強、弱）で判定して、LEDランプと音声（レーザを受信しました）、効果音の強弱で警告します。

*レーザ光からレーザ式オービスの設置位置や距離を特定することはできません。

受信状況	LEDランプの動作
待機状態	LEDイルミ設定色点灯（または消灯）
レベル（強）	赤色点滅（早い）
レベル（弱）	赤色点滅（遅い）

8-2 レーザ受信に関する注意事項

- 本体のレーザ受信部と取締機のレーザ光源を結んだ直線上に遮蔽物が存在すると受信できません。
- 次の場合、取締機のレーザ光が受信できない、または受信が遅くなる場合があります。
- ・取締機が直接視界に入らない形状の道路を走行中のとき。
- ・自車の前方に、車両、バイク、自転車や車道に飛び出した街路樹などが存在するとき。
- ・本体のレーザ受光部に朝日や西日などが直接入射しているとき。
- ・過度な悪天候のとき（豪雨や大雪、濃霧など）。
- ・降雪時、ワイパー動作で拭拭されない領域により受信部が隠れるとき。
- ・レーザ光を使用した車両検知器や衝突回避システムなど安全運転支援装置を装着した車両に近づいたとき。



9 GPS更新

「MyCellstar」からダウンロードした最新のGPSデータが入ったmicroSDカードを用意します。詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

- 本体からDCコードを外し、電源をOFFにする。
- 最新のGPSデータが入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。
- DCコードを接続して電源をONにする。自動的にGPSデータが更新され、本体が再起動します。

9-1 MyCellstarについて

「MyCellstar」は、GPSデータのダウンロードをおこない、最新のGPSデータに更新ができます。詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。
<http://www.mycellstar.jp>

■用意するもの

- 2GB以上のSDHC規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされた空きのmicroSDカード

■パソコンの推奨環境

- OS：Windows（8/10以降） / Macintosh（MacOS X 10.5以上）
- CPU：Intel Core2 Duo 相当性能
- メモリ：1GB以上
- グラフィックメモリ：256MB以上

■スマートフォンの推奨環境

- OS：Android5.0以降

*iOS、Android4.4、microSDカードスロットが無いスマートフォンには対応していません。
*Android5.0以降、SDカードの書き込み権限の設定が必要です。
*スマートフォンは、メモリ状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

10 故障かな？と思ったら

修理をご依頼する前に、もう一度次のことをご確認ください。また、弊社ホームページのよくある質問（FAQ）を参照してください。https://faq.cellstar.co.jp/

症状	考えられる原因
電源が入らない	・DC12Vが入力されていません。 ・本体とDCコードが外れていませんか。 ・シガーライター用スイッチ付きDCコードのヒューズが切られていませんか。
レーザが反応しない	・本体のレーザ受信部と取締機のレーザ光源を結んだ直線上に遮蔽物が存在すると受信できません。 ・次の場合、取締機のレーザ光が受信できない、または受信が遅くなる場合があります。 ・取締機が直接視界に入らない形状の道路を走行中のとき。 ・自車の前方に、車両、バイク、自転車や車道に飛び出した街路樹などが存在するとき。 ・本体のレーザ受光部に朝日や西日などが直接入射しているとき。 ・過度な悪天候のとき（豪雨や大雪、濃霧など）。 ・降雪時、ワイパー動作で拭拭されない領域により受信部が隠れるとき。 ・レーザ光を使用した車両検知器や衝突回避システムなど安全運転支援装置を装着した車両に近づいたとき。
レーザが反応しない	・GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります。（15分程度） ・トンネル内、高架下、ビル谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
速度取締機の警告をしない	・GPSが未測位になっていませんか ・登録されていない速度取締機の可能性があります ・取締機の設定が「ハイウェイ」または「シティ」になっていませんか。 ・取締機の設定が設定が「オフ」になっていませんか。 ・GPSが未測位になっていませんか ・設定が「オフ」になっていませんか。 ・登録されていないポイント（エリア）の可能性あります。
GPS警告をしない	・制限速度切りポイントの設定が「標準」で制限速度の上がる地点で警告しない設定になっていませんか。

11 仕様・定格

- 本体
- ・GPS受信部
- ・受信方式：34ch / バラレド受信
- ・受信周波数：1575.42MHz、1598.0625MHz～1605.375MHz
- ・電源電圧：DC12V
- ・動作温度範囲：-10℃～+65℃
- ・サイズ：56 (W) ×56 (D) ×21 (H) mm *突起部除く
- ・重量：46g
- *改良などのため、本機の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

12 アフターサービスについて

修理に関して

■修理に必要なもの

- 取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）

■保証書と修理受付票のご記入に関して

- 本書裏表紙の保証書と修理受付票（本書）に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定に従って無料で修理および調整させていただきます。
*ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。
*保証書の所定事項（製品名、お買い上げ店、販売店など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

・保証期間が過ぎているとき

修理受付票（本書）に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■修理受付票に関して

- ・ダウンロードご希望のお客様
インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。（修理受付票PDFダウンロード:48KB）
https://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■修理をご依頼する前に

- 故障かな？と思ったらを参考に故障かどうかをご確認ください。
 - OS：Windows（8/10以降） / Macintosh（MacOS X 10.5以上）
 - CPU：Intel Core2 Duo 相当性能
 - メモリ：1GB以上
 - グラフィックメモリ：256MB以上
- ・OS：Android5.0以降
- *iOS、Android4.4、microSDカードスロットが無いスマートフォンには対応していません。
*Android5.0以降、SDカードの書き込み権限の設定が必要です。
*スマートフォンは、メモリ状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

■修理の流れ

- ご不明な点は、当社カスタマーサービスにご連絡ください。
☎ 0570-006867（ナビダイヤル）
☎ 0120-75-6867（フリーダイヤル）
- 受付時間：9:00～18:00（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）
携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：0570-006867
- *修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

13 修理受付票

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：	ご住所：
ご自宅電話番号：	
FAX番号：	
日中ご連絡可能な電話番号：	☐ 携帯電話 ☐ ご勤務先 ☐ その他（ ）
ご購入日：	お見積り連絡： ☐ 不要 / ☐ 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡
同梱した付属品：合計（ ）点	*不要を選択した場合、お見積りの連絡はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	具体的な症状： ☐ 常に発生する ☐ 時々発生する ☐ 特定の条件で発生する できるだけ詳しくご記入ください。
お客様名：	ご住所：
ご自宅電話番号：	